

細山郷土資料館より寄贈された天文古文書

國司 眞*

Astronomical old documents donated by Hosoyama Regional Museum

Makoto Kunishi*

1. はじめに

細山郷土資料館は1980年5月、川崎市麻生区細山に開館し、地元運営委員・小学校教員などの専門委員が地域と一体となって運営された。資料館には農具、郷土文学などの民俗資料、細山から発掘された土器などの埋蔵文化財、天文と気象に関する資料が収集・保存・展示されてきた。

本稿の天文古文書は2014年3月、細山郷土資料館の閉館に伴い、館長の岡本岡一氏より当館へ寄贈されたもので、資料館設立にご尽力された故箕輪敏行氏が収集された貴重な文献資料群である。

2. 寄贈古文書の一覧

番号	書名	冊数
①	倭漢三才圖會 二卷 天文	1
②	倭漢三才圖會 三卷 天象	1
③	天文儀器志略	1
④	暦日診解	1
⑤	漏刻本	1
⑥	初学天文指南書 全五卷	5
⑦	天経或問 (写本) 上下	2
⑧	日食朔食表	1
⑨	日月行品台麓考	1
⑩	星象改正之図	1
⑪	唐土訓蒙 天文の部	1
合計		17

3. 寄贈古書の概要

① 倭漢三才圖會 二卷 天文 (二十八宿)



寺島良治により編纂された江戸時代中期の百科事典で第2巻にあたる。二十八宿各々の詳しい解説のほか天河や織女についての記載がある。

② 倭漢三才圖會 三卷 天象



主に気象に関連する内容で、暈、虹、雲、雷、梅雨などが解説されている。その中に流星と彗星の記述があり興味深い。

③ 天文儀器志略



著者は常福元で、中国の震華閣印書局 (印刷者) が1900年頃に出版。渾儀、簡儀、天體儀、赤道経緯儀などの観測機器、さらに水時計である漏壺についても図入りで解説されている。

④ 暦日診解



著者は柳精子で日本橋通、千鍾房の出版。二十八宿、二十四節気、七曜を関連付けて解説しており、吉凶についての記述も多い。

⑤ 漏刻本



元禄時代頃の出版で二十四節気を基準に1年間の日の出入り時刻が記載されている。江戸時代の不定時法と報時を研究する上で貴重な資料である。著者不詳。

*川崎市青少年科学館 (かわさき^{そら}宙と緑の科学館)
Kawasaki Municipal Science Museum

⑥ 初学天文指南書 全五巻



著者は馬場信武で 1706 年に出版。渾天儀等での観測方法、日食、月食、二十八宿、さらに気象や地震についての解説がある。

⑩ 星象改正之図



星宿の図が詳しく描かれている。巻末には二十四節気の各日付にどのような星宿が見られるか記載されている。著者・出版年代不詳。

⑦ 天経或問（写本）上下巻



江戸時代中期に中国から輸入された天文・地理・気象に関する書籍。著者は游子六で中国古来の天文学にイタリア人宣教師から学んだ西洋天文学の内容も記載されている。

⑪ 唐土訓蒙 天文の部



地球を中心とした九重天図、黄赤道南北極之図、さらに天河総星図などが記載されている。著者、出版年代不詳。

⑧ 日食朔食表



著者は鳥程徐有壬君青とあり、日食の計算方法が書かれている。出版年代不詳。

⑨ 日月行品台麓考



著者は佐田介石で、1881 年京都の西村九郎右衛門により出版された天文書。

4. 今後の保存と活用

上記の古書は燻蒸後に科学館収蔵庫に保存されている。収蔵庫内は温度 20℃以下、湿度 60%以下に保たれ、毎年燻蒸を実施しており、虫による食害とカビの発生を防いでいる。

活用については、展示ケースが整ってから一般公開が可能であるが、入館者に全ページを閲覧していただくことは難しい。研究者にとっても貴重な資料が含まれていることから、著作権等の要件を確認後にデジタル化し活用を検討したい。

このたびの天文古文書寄贈にあたっては、細山郷土資料館長の岡本岡一氏にご高配を賜った。そして私財を投じて貴重な資料を収集された故箕輪敏行氏の、星や自然に対する熱い思いが感じられた。あらためて両先生に感謝申し上げます。